

平成31年度 第2層十文字地域協議体 「まめ☆だすか ささえあいネット十文字」の取り組み

○構成員

PTA会長、民生委員、福祉協力員、いきいきサロン代表世話人、老人クラブ、ボランティア活動者、公民館、交流センター、地域活性化グループ、商工会、市職員、社協職員など（12名）

○定例会開催回数

平成27年度…1回、平成28年度…9回、平成29年度…6回、
平成30年度…5回、令和元年度…6回

○生活支援協議体(協議体)の取り組み

協議体の活性化や必要な取り組みを円滑に進めていくため、構成員の再編成を行った。新体制となったことから、本事業の目的やこれまでの取り組みについて構成員で共有したほか、構成員アンケートなどを行いながら地域の現状把握や必要な取り組みの検討を行った。なお、地域のみinnで支えあうための基盤となる「つどいの場」の充実した地域づくりを進めるため、把握した地域資源を十分に活かしながら取り組みを進めることとしている。

《主な取り組み》

①協議体構成員の再編成

協議体の活性化を図り、取り組みを更に充実させていくため、地区交流センターやボランティア団体、福祉活動者など、地域住民の交流や生活支援等にかかわる多くの方々に参画いただき、構成員の再編成を行った。



～新体制での協議体の様子～

②社会資源に関する情報交換

地域には介護予防や支えあいにつながる様々な社会資源があることから、それらの取り組みを情報収集しながら見える化を図り、社会参加の拡大などにつなげようと、構成員を地区ごとに分けてグループワークを行った。



～グループワークの様子～